

月刊労務ペーパー

ふとした疑問はここで解決!

ご意見、ご感想、取り上げて欲しい内容等がありましたら下記メールアドレスまでご連絡お願い致します。

Vol. 42

労使紛争を未然に防止 するため一つの提案

従業員と共に成長する企業を目指して

秋田労働局による「平成25年度個別労働紛争解決制度施行状況」によると、秋田労働局、労働基準監督署に設置している総合労働相談コーナー等で取り扱った総合労働相談件数は平成21年度をピークに減少はしているものの、平成25年度においては7187件となっており、労務者が公的機関や専門家に相談に行く時というものは、一体どんな心境なのだろうか「最近考えることがあります。「会社との話し合いでは話があかない」「愚痴を聞いてほしいだけ」「法律的にはどうなっているのか知りたい」など、その理由は人それぞれだと思われる。前述の公的機関等に相談をするという行為は労働者にとって当然な権利であり、現実にはけっしよ勇気のいる事だと思えます。そして勇気を出して相談に行く方の中には、会社との関係が崩れようとも自身の権利を主張しようという強い信

01 労使関係

〇 所属する部署

〇 所属する部署の名称

〇 担当の業務

〇 入社年月日

〇 退社年月日

〇 現在の勤務先

〇 退職理由

〇 退職後の勤務先

〇 退職後の勤務先

〇 退職後の勤務先

〇 退職後の勤務先

〇 退職後の勤務先

〇 退職後の勤務先

〇 退職後の勤務先

〇 退職後の勤務先

念に基づき行動する方もいると思えますが、一方「積年の我慢が限界に達した方」も少なからずいるのではないかと推測されます。しかし、一体何を我慢してきたのかは、実際のところ労働者本人にしか分かりません。労働条件に関するものなのか、社内の人間関係に関するものなのか、そういう性格なのか...。時間と

ともに解決する問題ではないでしようから、会社としては紛争になる前に何とかしてその原因を知っておきたいものです。かといって、ある日突然従業員一人一人と面談し不満を聞いてみようとしたところで、本音を話してくれるとは限りません。何でも本音を話せる関係が最高の関係とは限りませんが、積り積り燃発

する程の不満について、あるいは法律によって労働者が当然に行使できる権利についてまで話せない関係は、やはり問題があるのではないかと私は思っています。現代は、人との関係が希薄になってきていると言われています。しかし、たとえば時代がそういう流れであっても、中小企業においては労使間や従業員間がある程度密な関係でなければ、健全な発展は望めないのではないのでしょうか。

意思の疎通を図る手段
労使が意思の疎通を図る方法は、企業それぞれが、その歴史の中で培ってきた独自の方法があると思えます。その中で確認してみたいのは、それが使用者側の一方的な自己満足になっていないかという点です。多くの企業は利益を上げるために存在し、そのための目標を掲げ、その達成のために従業員に命令を出します。しかし、多くの中小企業では目標達成のための具体的な行動計画が立てられておらず、従業員自身も自分の労働がどのくらい企業に貢献し、自分自身も一体どのくらい成長しているのかを判断できずにいるのではないのでしょうか。そして一番問題なのは、その点について労使で意思の疎通が取れていないという点です。図1に示した「管理シート」は、会社の目標を従業員それぞれが認識した上で、その目標に沿いながら労働者自身が目標を策定し行動を管理するためのツールとして作成したものです。一年単位で管理する場合の使用例として、一年の初めに、会社が当該期間中の目標を掲げます(赤枠部分)。次に、労働者が、会社の目標に沿った形で自身の具体的な目標と行動計画を記入します(青枠部分)。そして、一年後に行動結果を自己評価する(黄枠部分)という手順です。このシート一番のポイントはその行動結果をもとに労働者と会社がそれぞれに押し、意見を述べ(緑枠部分)という行為です。目標管理と意思疎通のツールとして利用して頂ければ嬉しいのです。

(柴田 幸春)

～ 時代は進化しています ～

俳優の高君健さんが亡くなりました。追悼付加番組として、映画の「南極物語」が放送されました。この映画は小学生の時に家族と映画館へ見に行きました。その時は工賃が高君健さんだったなんて知りませんでした。実話ということで、タコとシロとの再会シーンは子供ながらも感動したので、ナレーションが少し惜しかったのを思い出しています。



当時は本荘にも映画館が2件くらいあったと思います。本荘事務所すぐそばにあったのを思い出しました。今では区画整理が進んで街並みもガラッと変わってしまいましたが、当時は本荘事務所近辺は町中心街で栄えていたのです。昔は歩いて行けた映画館も今は秋田市までいかないと行けませんし、レンタルDVDで見れるとても便利な時代になりました。あまりに便利すぎてついていけないこともありますが...

時代は進化しています。取り残されないよう、充実した生活を送りたいものです。

(伊藤 美紀子)

所長の一言

ブラック企業という言葉が耳にすることがおありかと思えます。度を越えた長時間労働やノルマを課すばかりか残業代も払わず、果てには精神疾患や自殺者まで出てしまうという悪徳企業のことをご存知でしょうか。世界遺産登録された富岡製糸場がそのブラック企業であったということを書きこんだツイッターが炎上したというお話を聞きました。製糸業という「あま野暮味」に代表される低賃金で過酷な長時間労働を強いていた工場をイメージし、富岡製糸場も同様に思わ

れたのでしよう。しかし富岡製糸場は1日8時間労働、週休1日、女性の身だしなみとしてお化粧も奨励していたという当時としてはかなり先進的な工場であったと思われる。工女も廃藩置縣で地位を失った旧士族の娘たちや戸長の娘などを始めとして、農工商の身分に関係なく多くの娘たちが全国から集まってきたのでした。快適な労働条件、福利厚生の実績が世界遺産までになる職場なんですね。

(社会保険労務士 堀井 潤)

ホームページURL **所長やスタッフのブログもあるよ!**
<http://www.horii-office.jp/index.html>

発行所 秋田市保戸野金砂町2-61 社会保険労務士法人 堀井事務所
 本誌掲載の記事・写真などの著作権・配権を承継します。
 (C)社会保険労務士法人 堀井事務所 編集責任者 柴田 幸春

E-mail: h-office@js3.so-net.ne.jp
 TEL: 018-863-7300 FAX: 018-863-7303